

令和 7 年 3 月 3 1 日

〔 各 府 省 官 房 長 等
各 行 政 執 行 法 人 の 長
日本郵政株式会社人事部長 〕 殿

人事院事務総局職員福祉局長

「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上災害の認定について」の一
部改正について（通知）

「心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上災害の認定について（令和 3 年 9 月 1
5 日職補－2 6 6）」の一部を下記のとおり改正したので、令和 7 年 4 月 1 日以
降は、これによってください。

記

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分（以下「傍線部分」
という。）でこれに対応する改正後欄に掲げる規定の傍線部分があるものは、こ
れを当該傍線部分のように改め、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分は、
これに対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改め、改正前
欄に掲げる標記部分に傍線を付した別添で改正後欄にこれに対応する別添を掲げ
ていないものは、これを削る。

改正後	改正前
別紙 心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上災害の認定指針 1 心・血管疾患及び脳血管疾患を公務上の災害と認定するに当たっての基本的な考え方 (1)・(2) (略) (3) 過重負荷を評価するための期間は、個別案件ごとに異なるものであるが、長期間にわたる疲労の蓄積等も考慮する観点から、発症前<u>6月</u>間程度となる場合があることに留意すること。 (4)・(5) (略) 2 (略) 3 過重負荷を判断するための着眼点 (1) (略) ア 業務の量的要因（勤務時間、勤務密度）に関するもの (ア) (略) (イ) 業務上の必要により、発症前1月間に正規の勤務時間を超えて100時間程度の超過勤務を行った場合であって、その勤務密度が通常の日常の業務と比較して同等以上であるとき (ウ) 業務上の必要により、発症前2月間ないし6月間にわたって正規の勤務時間を超えて1月当たり80時間程度の超過勤務を継続的に行った場合であって、その勤務密度が通常の日常の業務と比較して同等以上であるとき イ 業務の質的要因に関するもの (ア)～(エ) (略) なお、イ(ア)及び(イ)の「相当程度の期間」については、おおむね<u>3月</u>間程度を目安としつつ、業務量、業務内容等を勘案して判断すること。 (2) (略) 4 調査事項 (1) 基礎的事項 ア・イ (略) ウ 所属組織の組織図<u>及び座席図</u> エ (略) (2) (略) (3) 災害発生前の業務従事状況等（原則として、職務命令権者である上司等から業務従事状況に係る報告書を提出させること。） ア～エ (略)	別紙 心・血管疾患及び脳血管疾患の公務上災害の認定指針 1 心・血管疾患及び脳血管疾患を公務上の災害と認定するに当たっての基本的な考え方 (1)・(2) (略) (3) 過重負荷を評価するための期間は、個別案件ごとに異なるものであるが、長期間にわたる疲労の蓄積等も考慮する観点から、発症前<u>6か月</u>間程度となる場合があることに留意すること。 (4)・(5) (略) 2 (略) 3 過重負荷を判断するための着眼点 (1) (略) ア 業務の量的要因（勤務時間、勤務密度）に関するもの (ア) (略) (イ) 業務上の必要により、発症前1か月間に正規の勤務時間を超えて100時間程度の超過勤務を行った場合であって、その勤務密度が通常の日常の業務と比較して同等以上であるとき (ウ) 業務上の必要により、発症前2か月間ないし6か月間にわたって正規の勤務時間を超えて1か月当たり80時間程度の超過勤務を継続的に行った場合であって、その勤務密度が通常の日常の業務と比較して同等以上であるとき イ 業務の質的要因に関するもの (ア)～(エ) (略) なお、イ(ア)及び(イ)の「相当程度の期間」については、おおむね<u>3か月</u>間程度を目安としつつ、業務量、業務内容等を勘案して判断すること。 (2) (略) 4 調査事項 (1) 基礎的事項 ア・イ (略) ウ 所属組織の組織図<u>又は機構図</u> エ (略) (2) (略) (3) 災害発生前の業務従事状況等（原則として、職務命令権者である上司等から業務従事状況に係る報告書を提出させること。） ア～エ (略)

オ 発症前1月間の勤務状況の詳細（上記エに準ずる過重な業務が発症前1月間継続している場合又はこれに相当する場合には、著しい増悪に関連があると認められるので、詳細に調査すること（別添1―2）。）

カ 発症前6月間の勤務状況（必ずしも全期間について詳細に調査する必要はなく、相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められるものについて重点的に調査すること。その際、著しい疲労の蓄積や過度のストレスの持続がある場合には、著しい増悪に関連があると認められるので、疲労の蓄積等があったかどうかという観点からも調査すること。また、発症前6月間より前から相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められる業務が引き続いている場合は、その開始時期等についても調査すること（別添1―2）。）

キ 上記ウからカまでの各期間における超過勤務の時間数及びその業務内容等（別添1―1及び1―2）

ク 発症前6月間における「対外折衝等で精神的緊張を伴う業務」、「制度の創設、組織の改廃等で困難な業務」、「寒冷、暑熱等特別な業務環境等の下での業務」、「特別な事態の発生により必要となった日常は行わない業務」、「早出、遅出等の不規則勤務」、「17時間30分を超えるような拘束時間の長い勤務」、休日勤務、「勤務間のインターバルの短い勤務」、深夜勤務、交替制勤務、宿日直勤務、「出張等勤務官署外における移動を伴う勤務（海外出張にあっては、時差の程度を含む。）」の状況の詳細（これらの勤務等がある場合は、従事した期間、具体的な業務内容等について調査すること。また、調査に当たっては、「精神疾患等の公務上災害の認定について（平成20年4月1日職補―114人事院事務総局職員福祉局長）」の別紙「精神疾患等の公務上災害の認定指針」の別表「公務に関連する負荷の分析表」の出来事例、業務例も参考にすること。）

ケ （略）

コ 勤務時間外に論文、報告書等を作成していたとする場合は、その理由及び成果物の確認

サ～ス （略）

(4) 発症時の医師の所見等

ア （略）

イ 解剖所見（死亡診断書又は死体検案書による）

(5) （略）

(6) 日常生活

ア （略）

イ 発症前1月間の生活状況

ウ 発症前6月間の生活状況（必ずしも全期間について詳細に調査する必要はなく、相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められるものについて重点的に調査すること。）

オ 発症前1か月間の勤務状況の詳細（上記エに準ずる過重な業務が発症前1か月間継続している場合又はこれに相当する場合には、著しい増悪に関連があると認められるので、詳細に調査すること（別添1―2）。）

カ 発症前6か月間の勤務状況（必ずしも全期間について詳細に調査する必要はなく、相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められるものについて重点的に調査すること。その際、著しい疲労の蓄積や過度のストレスの持続がある場合には、著しい増悪に関連があると認められるので、疲労の蓄積等があったかどうかという観点からも調査すること。また、発症前6か月間より前から相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められる業務が引き続いている場合は、その開始時期等についても調査すること（別添1―3）。）

キ 上記ウからカまでの各期間における超過勤務の時間数及びその業務内容等（別添1―1から1―3）

ク 発症前6か月間における「対外折衝等で精神的緊張を伴う業務」、「制度の創設、組織の改廃等で困難な業務」、「寒冷、暑熱等特別な業務環境等の下での業務」、「特別な事態の発生により必要となった日常は行わない業務」、「早出、遅出等の不規則勤務」、「17時間30分を超えるような拘束時間の長い勤務」、休日勤務、「勤務間インターバルの短い勤務」、深夜勤務、交替制勤務、宿日直勤務、「出張等勤務官署外における移動を伴う勤務（海外出張にあっては、時差の程度を含む。）」の状況の詳細（これらの勤務等がある場合は、従事した期間、具体的な業務内容等について調査すること。また、調査に当たっては、「精神疾患等の公務上災害の認定について（平成20年4月1日職補―114人事院事務総局職員福祉局長）」の別紙「精神疾患等の公務上災害の認定指針」の別表「公務に関連する負荷の分析表」の出来事例、業務例も参考にすること。）

ケ （略）

コ 自宅等で論文、報告書等を作成していたとする場合は、その理由及び成果物の確認

サ～ス （略）

(4) 発症時の医師の所見等

ア （略）

イ 解剖所見

(5) （略）

(6) 日常生活

ア （略）

イ 発症前1か月間の生活状況

ウ 発症前6か月間の生活状況（必ずしも全期間について詳細に調査する必要はなく、相当程度の精神的又は肉体的な負荷を与えたと認められるものについて重点的に調査すること。）

(7)・(8) (略)
5 (略)

(7)・(8) (略)
5 (略)

別添 1－1

別添 1－1

発症前 1 週間の勤務状況調査票

※本調査票は、発症日に続き、発症前 1 週間を発症前日から遡って記載すること。
発症前から 2 週間以上にわたって連続勤務を行っている場合には、発症前 2 週間について記載すること。
※「勤務状況の詳細」においては、業務内容、勤務密度（待機的な業務か否か等）、負荷を与え得る業務環境（寒冷・暑熱等）について具体的に記載すること。

発症前の業務内容は本人の通常の日常業務と比較して→ 「多い」場合は、その内容： ☐ 多い ☐ 変わらない ☐ 少ない			
	勤務時間	勤務状況	勤務状況の詳細
記載例 6 月 2 0 日（水）	8:30 午前中 12:00～13:00 13:00～14:00 14:00～16:00 16:00～18:00 18:00～21:00 21:00	出勤 会議出席 休憩 議事録作成 事務処理 課内打合せ 事務処理 退庁	本人は、休憩時間にも議事録作成の準備をしていた。 ○○に関する制度等の調査、説明資料の作成等 本人が説明者となり打合せが行われたが、意見がまとまらず長引いた。 検討ペーパー作成（課内打合せの結果を踏まえて）
発症日 ○月○日（○）			
○月○日（○）			
○月○日（○）			
○月○日（○）			

別添 1－1

別添 1－1

発症前 1 週間の勤務状況調査票

発 症 日	期 間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	備	考
	【勤務状況の詳細等】																											
	【超過勤務時間数】 時間 分													【超過勤務の業務内容等】														
	うち深夜勤務時間数 時間 分																											
月 日 （ 曜 日 ）	期 間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	備	考
	【勤務状況の詳細等】																											
	【超過勤務時間数】 時間 分													【超過勤務の業務内容等】														
	うち深夜勤務時間数 時間 分																											

- 注 1 本調査票は、発症日に続き、発症前 1 週間を発症前日から遡って記載すること。
2 「勤務時間」の欄は、業務に応じて、例えば「―○○業務―」のように記載するとともに、出勤時刻を記載すること。
3 「勤務状況の詳細等」においては、業務内容、勤務密度（待機的な業務か否か等）等について具体的に記載すること。その他の調査事項についても記載して差し支えないが、記載した場合はその旨を簡易認定調査票に記載すること。「超過勤務の業務内容等」においては、超過勤務の業務内容、勤務密度等に加えて、当該超過勤務が必要となった状況等についても記載すること。
4 「備考」の欄には、その左の欄に対応し、当該欄の内容の根拠、資料等となったものを記載すること（例えば、「勤務時間」に対応する上段には出勤簿、鍵授受簿、上司等の報告書等、 「勤務状況の詳細等」に対応する中段には上司等の報告書等、 「超過勤務時間数」及び「超過勤務の業務内容等」に対応する下段には超過勤務命令簿等超過勤務の記録、上司等の報告書等を記載すること。）。
5 各欄の大きさ及び調査票の分量は、記載内容に応じたものとする。調査の結果を記載する上で必要があれば、各欄の配列を変更し、又は各欄以外の欄を設定する等この様式を変更しても差し支えない。

(別添を削る)

別添 1－2

別添 1－2

発症前 1 か月間の勤務状況調査票

発症前 1 か月間における主な業務内容				備 考	
発症前 1 か月間（発症前 1 週間を除く。）の勤務状況等					
月 日 （ 曜 日 ）	[勤務状況の詳細等]			備 考	
	[出 勤]	時	分		[超過勤務の業務内容等]
	[退 勤]	時	分		
	[超過勤務時間数]	時間	分		
（うち深夜勤務時間数 時間 分）					
月 日 （ 曜 日 ）	[勤務状況の詳細等]			備 考	
	[出 勤]	時	分		[超過勤務の業務内容等]
	[退 勤]	時	分		
	[超過勤務時間数]	時間	分		
（うち深夜勤務時間数 時間 分）					

- 注 1 「発症前 1 か月間（発症前 1 週間を除く。）の勤務状況等」の欄は、発症から遡って記載すること。
- 2 「[勤務状況の詳細等]」においては、業務内容、勤務密度（待機的な業務か否か等）等について具体的に記載すること。その他の調査事項についても記載して差し支えないが、記載した場合はその旨を簡易認定調査票に記載すること。「[超過勤務の業務内容等]」においては、超過勤務の業務内容、勤務密度等に加えて、当該超過勤務が必要となった状況等についても記載すること。
- 3 「備考」の欄には、その左の欄に対応し、当該欄の内容の根拠、資料等となったものを記載すること（例えば、「[勤務状況の詳細等]」に対応する上段には上司等の報告書等を、「[出勤]」、「[退勤]」、「[超過勤務時間数]」及び「[超過勤務の業務内容等]」に対応する下段には超過勤務命令簿等超過勤務の記録、出勤簿、健診受簿、上司等の報告書等を記載すること。）。
- 4 各欄の大きさ及び調査票の分量は、記載内容に応じたものとする。調査の結果を記載する上で必要があれば、各欄の配列を変更し、又は各欄以外の欄を設定する等この様式を変更しても差し支えない。

別添 1 - 2

別添 1 - 2

発症前 6 月間の勤務状況調査票

※ 超過勤務の裏付けとなる資料は、超過勤務等命令簿に限らず、本人が業務で使用したパソコンのログイン・ログアウトの記録、入退館記録など、本人が超過勤務を行ったと認める時間数を示す資料を提出すること。

※ 発症前1月間から6月間の各1月間ごとにつき1シート作成すること。

※ 出勤時刻、退勤時刻、割り振られた勤務時間の欄への記入は任意だが、インターバルの短い勤務等がある場合はできるだけ記入すること。

[illegible]

期間	勤務日	週休日等	休暇日	時間休

超過勤務 時間数	うち 深夜勤務

別添 1 - 3

別添 1—3

発症前 6 か月間の勤務状況調査票

発症前 6 か月間における主な業務内容			備 考
発症前 6 か月間（発症前 1 か月間を除く。）の勤務状況等			備 考
月 日 （ 曜日 ） 〃	【勤務状況】		
月 日 （ 曜日 ）	【超過勤務時間数】 時間 分 【うち深夜勤務時間数】 時間 分	【超過勤務の業務内容等】	
月 日 （ 曜日 ） 〃	【勤務状況】		
月 日 （ 曜日 ）	【超過勤務時間数】 時間 分 【うち深夜勤務時間数】 時間 分	【超過勤務の業務内容等】	

注1 「発症前6か月間（前14日間を除く）」の活動状況は、発症から前夜に遡ることにも、活動状況に応じて1週間単位又は1か月単位まで遡ることにも対応する。
注2 「活動状況」においては、業務内容、勤務態度（持病のある業務が否か等）のすべてについて記録することにも、退休・休日勤務及び当該労働管理官における勤務を行う勤務を行った場合には、それの日数・内容を記載すること。その他の調査事項については記載して差し支えないが、記載した場合その内容を警察視察調査員に転記すること。「活動状況の業務内容等」については、超過勤務の業務内容、勤務態度等に加えて、当該超過勤務に必要な状況等についても記載すること。
注3 「備考」の欄には、その左の欄に対応し、当該備考の目的の範囲、資料とすることにも対応すること（例えば、「活動状況」に3対応する上段には上司等の報告書、出勤帳簿等、「超過勤務時間数」及び「超過勤務の業務内容等」に対応する下段には超過勤務時間等超過勤務活動の記録、健康受診、上司等の報告書等も記載すること。）。
4 各欄の大きさ及び調査票の分量は、記載内容に合ったものとする。調査の結果を記載する上で必要があれば、各欄の記号を変更し、又は各欄の欄頭を変更する等の様式変更も差し支えない。

別添 2

別添 2

心・血管疾患及び脳血管疾患の簡易認定調査票

氏名：		(☐ 男 ・ ☐ 女)		年	月	日	生 (発症時	歳 ・ 死亡時	歳)
所属：		職名：		(☐ 常勤 ☐ 非常勤)					
適用俸給表：		俸給表	級	号	所属組織の組織図及び座席図：		☐ 有 (別添) ☐ 無 (別添)		
1. 災害発生の状況等									
発生日時：		年	月	日	(月)	曜日	時	分	頃
発生場所：									
傷病名等：									
災害発生の概況 (発症状況及び入院状況等を含む。)									
本人又は家族の申立書		→		☐ 有 (別添) ☐ 無					
2. 災害発生前の業務従事状況等 (災害発生6か月前から災害発生時までの業務従事状況等の遷移が分かるように記述すること)									
所属部署の業務内容及び状況：									
所属部署の各職員の業務内容及び分担状況 (災害発生6か月前から災害発生時までに異動があった場合は異動ごとに事務分掌規程等を基に記述すること。本人の業務内容は、特に詳細に記述すること。)									
発症時の職への就任年月日：年 月 日									
本人に通常割り振られた業務内容：									
本人に特に割り振られた業務内容 (上記「本人に通常割り振られた業務内容」を除く。)									
本人以外の職員の業務内容及び分担状況：									
上司、部下等の病休、欠員等の状況 → ☐ 有 ☐ 無									
「有」の場合は、その状況 (本人への影響)：									
発症前1週間及び発症前1月間の勤務状況の詳細。発症前6月間の勤務状況									
発症前1週間の勤務状況の詳細：別添1—1「発症前1週間の勤務状況調査票」									
発症前6月間の勤務状況 (超過勤務の時間数)：別添1—2「発症前6月間の勤務状況調査票」									
●発症前1月間の勤務状況の詳細 (その他の負荷を与えた出来事等)									
●発症前6月間の勤務状況 (発症前6月間における「対外折衝等で精神的緊張を伴う業務」、「制度の創設、組織の改廃等で困難な業務」等認定指針4の③のクに掲げた勤務等の状況 (必ずしも全期間について調査する必要はなく、負荷を与えたと認められるものについて記載すること。)									

別添 2

別添 2

心・血管疾患及び脳血管疾患の簡易認定調査票

氏名：		(☐ 男 ・ ☐ 女)		年	月	日	生 (発症時	歳 ・ 死亡時	歳)
所属：		職名：		(☐ 常勤 ☐ 非常勤)					
適用俸給表：		俸給表	級	号	所属組織の組織図又は機構図：		☐ 有 (別添) ☐ 無 (別添)		
1. 災害発生の状況等									
発生日時：		年	月	日	(月)	曜日	時	分	頃
発生場所：									
傷病名等：									
災害発生の概況 (発症状況及び入院状況等を含む。)									
災害発生現場の見取図等		→		☐ 有 (別添) ☐ 無					
本人又は家族の申立書		→		☐ 有 (別添) ☐ 無					
2. 災害発生前の業務従事状況等 (災害発生6か月前から災害発生時までの業務従事状況等の遷移が分かるように記述すること)									
所属部署の業務内容及び状況：									
所属部署の各職員の業務内容及び分担状況 (災害発生6か月前から災害発生時までに異動があった場合は異動ごとに事務分掌規程等を基に記述すること。本人の業務内容は、特に詳細に記述すること。)									
発症時の職への就任年月日：年 月 日									
本人に通常割り振られた業務内容：									
本人に特に割り振られた業務内容：									
本人以外の職員の業務内容及び分担状況：									
上司、部下等の病休、欠員等の状況 → ☐ 有 ☐ 無									
「有」の場合は、その状況：									
本人の通常の日常業務内容と発症前の業務内容の比較									
発症前の業務内容の詳細：									
発症前の業務内容は本人の通常の日常業務内容と比較して → ☐ 多い ☐ 変わらない ☐ 少ない									
「多い」の場合は、その内容：									
発症前日から直前までの業務従事状況の詳細：(別添1—1「発症前1週間の勤務状況調査票」に記載した場合は、その旨を記載)									
発症前1週間の勤務状況の詳細 (超過勤務の時間数及びその業務内容等を含む。)									
別添1—1「発症前1週間の勤務状況調査票」									
発症前1か月間の勤務状況の詳細 (超過勤務の時間数及びその業務内容等を含む。)									
別添1—2「発症前1か月間の勤務状況調査票」									

異常な出来事・突発的な事態 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
消防署・気象官署等の証明、目撃者等の証言等 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
単身赴任 → ☐ 該当 ☐ 非該当	
勤務形態 (発症前 6 か月間に業務形態等に変動が生じた時はその遷移がわかるように記述すること)	
官制勤務 ☐ 該当、 [始業時刻] 時 分 [終業時刻] 時 分	
休日勤務 ☐ 有 勤務間の 1/2 以上の短い勤務 ☐ 有 深夜勤務 ☐ 有 不規則勤務 ☐ 有	
交替制勤務 ☐ 有 宿日直勤務 ☐ 有 勤務官署外勤務 ☐ 有 その他の勤務 ☐ 有 (別添)	
超過勤務の裏付けとなる資料 (超過勤務命令簿、在庁時間を示す資料等) : ☐ 有 (別添) ☐ 無 (後日提出)	
出勤・休暇等の取得状況 : 出勤簿、休暇簿 (年次休暇用、病欠休暇用、特別休暇用) : ☐ 有 (別添) ☐ 無 (後日提出)	
通勤の実態 (片道おおむね 1 時間 3 0 分以上の場合) : ☐ 該当 (通勤届別添) ☐ 非該当	
勤務時間外の論文、報告書等作成 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
成果物 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
3. 発症時の医師の所見等	
主治医の診断書・意見書	
主治医の診断書・意見 → ☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)	
診療録・診療要約 → ☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)	
血圧検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
血液生化学検査等諸臨床検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
心電図検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
超音波検査・X 線写真・脳動脈造影・CT・MRI 等の画像検査等 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
死亡診断書 (死体検案書) → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
4. 健康状況等	
本人の身長及び体重 : 身長 cm 体重 kg (年 月 日現在)	
発症前の本人の診察及び前駆症状等 → ☐ 有 ☐ 無	
「有」の場合は、その内容 :	
定期健康診断等の記録 (災害発生前 5 年間) : 別添 指導区分及び事後措置 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
本人の素因、基礎疾患及び既存疾患 → ☐ 有 ☐ 無	
「有」の場合は、その内容 :	
素因、基礎疾患及び既存疾患に係る主治医の診断書・意見等 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
常用薬服薬 → ☐ 有 (内容) ☐ 無	
5. 日常生活	
発症前 6 か月間の生活状況 (必ずしも全期間について調査する必要はなく、負荷を与えたと認められるものについて記載すること。) :	
6. 趣味、嗜好、家族状況等	
嗜好品 : ☐ タバコ (本 / 日) ☐ 酒 : 種類 (), 量 (, ml / 日)	
☐ コーヒー : 量 (杯 / 日) ☐ その他 : 種類 (), 量 (, / 日)	
趣味・スポーツ : ☐ 有 () ☐ 無 家族状況、家族歴 : ☐ 有 (別添) ☐ 無	
7. その他業務環境等に関する事項	
発症時の勤務場所等の見取図、写真、騒音、照度、温度等 : (別添)	
発症日の気象条件 : 気温 (°C) 湿度 (%) その他 ()	
作成年月日	
作成者 所属・職名	
補償事務主任者 所属・職名	

発症前 6 か月間の勤務状況 : 別添 1 ~ 3 「発症前 6 か月間の勤務状況調査票」	
発症前 6 か月間における「対外折衝等で精神的緊張を伴う業務」、「制度の創設、組織の改廃等で困難な業務」等認定指針 4 の 3 のクに掲げた勤務等の状況 (必ずしも全期間について調査する必要はなく、負荷を与えたと認められるものについて記載すること。) : 別添 1 ~ 1 から 1 ~ 3 の調査票に記載した場合は、その旨を記載	
超過勤務の裏付けとなる資料 (超過勤務命令簿、在庁時間を示す資料等) : ☐ 有 (別添)	
異常な出来事・突発的な事態 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
消防署・気象官署等の証明、目撃者等の証言等 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
自宅等での論文、報告書等作成 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
成果物 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
単身赴任 → ☐ 該当 ☐ 非該当	
業務形態 (発症前 6 か月間に業務形態等に変動が生じた時はその遷移がわかるように記述すること)	
官制勤務 ☐ 該当 → [始業時刻] 時 分 [終業時刻] 時 分	
不規則勤務 ☐ 有 (別添) 休日勤務 ☐ 有 (別添) 勤務間 1/2 以上の短い勤務 ☐ 有 (別添) 深夜勤務 ☐ 有 (別添)	
交替制勤務 ☐ 有 (別添) 宿日直勤務 ☐ 有 (別添) 勤務官署外勤務 ☐ 有 (別添) その他の勤務 ☐ 有 (別添)	
出勤・休暇等の取得状況 : 出勤簿、休暇簿 (年次休暇用、病欠休暇用、特別休暇用) : ☐ 有 (別添)	
通勤の実態 (片道おおむね 1 時間 3 0 分以上の場合) : ☐ 該当 (通勤届別添) ☐ 非該当	
上司等からの業務従事状況報告書 : (別添)	
3. 発症時の医師の所見等	
主治医の診断書・意見書	
主治医の診断書・意見 → ☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)	
診療録・診療要約 → ☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)	
血圧検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
血液生化学検査等諸臨床検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
心電図検査 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
超音波検査・X 線写真・脳動脈造影・CT・MRI 等の画像検査等 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
解剖 → ☐ 実施 (☐ 有 (別添) ☐ 無 (入手して提出)) ☐ 未実施	
4. 健康状況等	
本人の身長及び体重 : 身長 cm 体重 kg (年 月 日現在)	
発症前の本人の診察及び前駆症状等 → ☐ 有 ☐ 無	
「有」の場合は、その内容 :	
定期健康診断等の記録 : 別添 指導区分及び事後措置 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
本人の素因、基礎疾患及び既存疾患 → ☐ 有 ☐ 無	
「有」の場合は、その内容 :	
素因、基礎疾患及び既存疾患に係る主治医の診断書・意見等 → ☐ 有 (別添) ☐ 無	
常用薬服薬 → ☐ 有 (内容) ☐ 無	
5. 日常生活	
発症前 6 か月間の生活状況 (必ずしも全期間について調査する必要はなく、負荷を与えたと認められるものについて記載すること。) :	
6. 趣味、嗜好、家族状況等	
嗜好品 : ☐ タバコ (本 / 日) ☐ 酒 : 種類 (), 量 (, ml / 日)	
☐ その他 : 種類 (), 量 (, / 日)	
趣味・スポーツ : ☐ 有 () ☐ 無 家族状況、家族歴 : ☐ 有 (別添) ☐ 無	
7. その他業務環境等に関する事項	
発症時の勤務場所等の見取図、写真、騒音、照度、温度等 : (別添)	
発症日の気象条件 : 気温 (°C) 湿度 (%) その他 ()	
作成年月日	
作成者 所属・職名	
補償事務主任者 所属・職名	

注 各欄の大きさ及び調査票の分量は、記載内容に応じたものとする。

以 上